# 教職員の多忙化改善に向けた本校の取り組み！

今年度も山梨県教育委員会より，市町村教育委員会と各小中学校に多忙化改善に向けた組織体制づくりと改善計画の作成，その実行などについて指導をいただいています。本校でも，今年度も組織と計画を策定し，順次取り組んで参ります。その目的は，次の２点です。

⑦ 教職員の多忙化を改善することで，教職員が直接児童と関わる時間を増やし，教育活動の一層の充実を図る

② 教職員の多忙化を改善し，教職員の心身の健康の維持改善を推進することで，教育活動の一層の改善を進める。

組織については次の通りです。

○ 名　称　　舞鶴小学校多忙化改善対策委員会

○ 参加者　　校長・教頭・教務主任，必要に応じて学年主任や分掌責任者が参加する

具体的には，次のことを行います。

⑦ 会議等の効率化

- 職員会議は原則，１時間以内で終わるようにし，先生方の授業準備やワークシートやプリントの丸つけ等の時間を確保します。
- 校内研究会も可能な限り夏休みに実施するようにし，放課後の子どもに対応できる時間を確保します。

② 学校行事の負担軽減

- 学校集会の中の賞状伝達が長引いてしまい，１校時に食い込んでしまうことがあるので，学校集会での児童会と学級役員の認証式以外の賞状伝達は，受賞者へのインタビューを含めて昼のテレビ放送で行い，１校時の授業時間を確保します。

③ 校内組織の見直し

- 校内分掌（研究主任や体育主任などの校内での役割）をできる限り主任と副主任を配置し，複数分担制にすることにより一人にかかる負担を軽減します。
- 校務の遂行に多くの時間が必要な職員については，校務分掌の適正化や軽減化をもとに，個に応じた指導をします。

④ 業務の効率化

- 大型ディスプレイとパソコン，デジタル教科書，実物投影機等をより一層活用し，教員の負担を軽減するとともに，子どもたちにわかりやすい授業にします
- 退勤時間が遅くなってしまい，体調が万全でない状態で子どもの前に立たざるを得ないことがありますが，教育委員会配布の「出退勤記録表（エクセルシート）」に出退勤時刻を記入するなどして，あまり遅くならないような意識を持つよう指導します。
- 日頃から仕事の効率化と見通しをもった職務の遂行の必要性を呼びかけ，残業時間の低減を図るとともに，計画的に１８時までには退庁する日を定め，実施します。

⑤ 地域人材の活用

- 教職員に学校応援団に支援してほしいことをアンケート調査し，積極的に支援していただくことで，より良い指導を実現するとともに教員が子どもに向き合う時間を確保します
- せっかく学校応援団にお手伝いいただいても，教員との打ち合わせ時間が多くなりすぎるとそれが負担となってしまうので，簡単な打ち合わせや打ち合わせなしでもできるよう，学校応援団のリーダーを育成し，その方に打ち合わせや指導してもらえるようにします

⑥ 全体を通して

- 全体の取り組みを，ＰＤＣＡサイクルで検証し，毎年実態に合ったものに改善していきます

これ以外にもいくつかの取り組みをしますが，今年度も実践しながら改善していき，教職員が子どもに向き合う時間を確保し，健康で子どもたちの前で自然と笑顔が出るよう取り組みます。